

# うちなんちゅ観光大使バッジプロジェクト

沖縄アミークスインターナショナル小学校

6年生 小林千桜

みなさんは沖縄を訪れた観光客の人達とお話したことがありますか。

年間 900 万人以上もの人が沖縄を訪れているにもかかわらず、私は今までに一度も観光客の人達と話したことがありません。みなさんもそう感じたことはありませんか。私は観光客の人達に、ガイドブックにはのっていないすてきな観光スポットや、地元の人しか知られていないとっておきのお店など、たくさんの情報を教えてあげたいと思っています。例えば、おいしいゴーヤチャムプルが食べられる昔ながらの沖縄の定食屋さんや、オリジナリティーがあふれる全て手作りの琉球ガラスのざっか屋さん、あまり知られていないシュノーケリングスポットなどです。

沖縄は自然が豊かで、ガイドブックだけでは紹介しきれないほど素晴らしい場所がたくさんあります。なので、私はその情報を現地の人だけではなく、国内はもちろん世界中の人々に、たくさんのうちなんちゅと一緒に発信していきたいと考えました。

もし沖縄県民の一人一人が、だれか一人の観光客に、自分だけの特別な情報を伝えられたら、きっと沖縄を訪れた観光客の人達はまた沖縄に来たいと感じてくれると思います。

しかし、とつぜん観光客に話しかけるのはとても勇気がいります。

そこで私が考えたのが、「うちなんちゅ観光大使バッジ」です。このバッジは沖縄県民なら誰でも、いつでも好きな時に付けることができます。

観光客の人達は、このバッジを付けている人に気軽に話しかけられると思いますし、バッジを付けている人もきんちょうすることなく、どうどうと観光客の人達に話しかける事が出来ると思います。

たとえその国の言語が話せなくても、バッジを付けている時は、常にバッグなどに自分が観光客に伝えたい情報をあらかじめ用意しておいたり、携帯などの翻訳機を使って交流ができる状態を作っておくと良いと思います。

私はこのバッジを利用する事により、世界中の人々と交流することで、さまざまな言語を学ぶ機会も作れると思います。

このバッジプロジェクトが実現すれば、沖縄県民の持つイチャリバチャオーダーの心で、世界中の人々に、より積極的に話しかける事が出来ると思います。

このバッジを通して知り合った観光客の人達は、沖縄を訪れる度に、オリジナリティーあふれる情報が得られると同時に、沖縄県民のやさしさや親しみやすさに感動して、再び何度も沖縄を訪れてくれると思います。